知る。つながる。かわる。

小金井市議会
広報・広聴ビジョン(案)

市民とつくる市民のための、開かれた議会へ

小金井市議会 広報・広聴協議会

2027年 3 月 策定

前文
１　これまで小金井市議会が取り組んできたこと ---- 1
- １ 市民に開かれた議会 ---- 1
- ２ わかりやすい情報発信 ---- 2
- ３ 市民の声の聴取と施策への反映 ---- 2
２　小金井市議会の課題 ---- 3
- １ 市議会の関心度をどう高めていくのか ---- 3
- ２ 広報活動を市民全体にどう広げていくのか ---- 5
- ３ 多様な市民の声を市政にどのように反映していくのか ---- 6
３　取組の方向性 ---- 7
- １　わかりやすい広報・情報発信への取組（広報） ---- 7
- ２　市民の声を反映し、ともに考える仕組みづくり（広聴） ---- 8
４　市民とつくる市民のための、開かれた議会へ ---- 8
協議経過　広報・広聴ビジョンの策定を終えて

前文

議会は市民の代表として選出された議員による合議制の議決機関であり、執行機関である市長と対等な関係に立つ、市民福祉に責任を負う二元代表制に基づく機関です。地方分権が進み、住民自治による政策形成の重要性が増してきています。

小金井市議会では2016年に「小金井市議会基本条例」を制定し、市民と市民の負託を受けた議会の関係について規定しました。その第12条では、議会と市政への関心を高めるため、市民の「知る権利」を保障し、広報・広聴活動の充実に努めなければならないと規定し、取り組んできました。しかし、市民アンケートの結果を見ると、議会の役割や活動が市民に十分に伝わっていないことが明らかになっています。

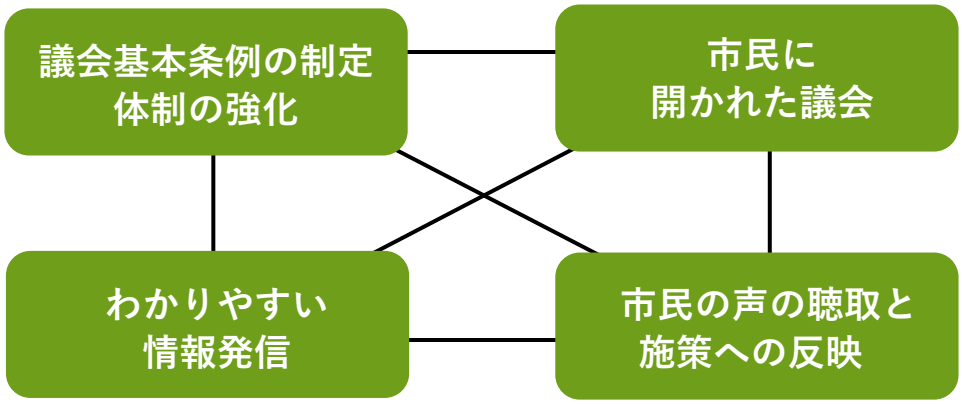
デジタル化などを始めとして社会経済状況が急速に変化している中で、今まで以上に、議会活動をわかりやすく伝えるなど市民が市議会への関心を高め、そして市議会が市民の多様な意見をくみ取れるよう、様々なかたちでの広報・広聴が必要とされています。

よって市議会は、議会基本条例の理念に基づき、「市民に開かれた議会」「市民の声を反映させる議会」を目指し、ここに「小金井市議会広報・広聴ビジョン」を策定します。

なお、本ビジョンは４年に１度行われる市民アンケート調査の結果を踏まえ、議員任期に合わせた４年間の中で、時点修正や必要に応じた見直しを行っていきます。

1 これまで小金井市議会が取り組んできたこと

小金井市議会では、他市議会への視察を踏まえ、本格的にスタートした議会改革の協議の中で、広報・広聴の改革にも取り組んできました。



● 議会基本条例の制定

2011年　調査を開始
2013年　策定代表者会議を立ち上げ議論スタート
2016年　議会基本条例施行
2020年,2024年　議会基本条例の見直し

● 体制強化

2015年　広報協議会及び３部会（議会報編集／紙面改革／広報）を立ち上げ
2025年　広報協議会に、広聴機能を追加し、広報・広聴協議会を立ち上げ

-1 市民に開かれた議会

● 会議の公開

会派代表者会議、秘密会を除き、本会議・委員会など、子どもも外国籍市民もどなたでも傍聴できます。
2013年　ユーストリーム中継を開始
2014年　YouTubeチャンネルを開始

● 定例会の周知

2020年　本会議・委員会の開催情報等をTwitter(現 X)で発信
2024年　「市議会開会中」の横断幕作成・掲示

● 日曜議会の開催

2004年　試行実施
2018年　本格実施

● その他の取り組み

2002年　傍聴者用資料を３冊配置
2003年　陳情における陳述時間の拡大（陳情書１件において、10分からおおむね15分以内へ）

○ 請願・陳情の取扱い

請願や陳情は、市民の皆さんの要望や意見を提出できる制度です。市議会が採択した請願・陳情は、市長等に送付し対応を求めています。小金井市議会では、請願・陳情とも同様に扱っており、委員会では議案より先に審査しています。

【請願と陳情の違い】

提出にあたって紹介議員が

必要 ↓ 請願

不要 ↓ 陳情

-2 わかりやすい情報発信

● 市議会ガイドブック

2001年　市議会ガイドブック発刊



※企画、レイアウト、文章など、議員が作成

※新庁舎の竣工時に合わせリニューアル予定

● ホームページでの情報公開

2017年　行政視察報告書
2018年　政務活動費の領収書、全面公開
2019年　議員案(条例・意見書・決議)
2020年　予算・決算特別委員会の議会要求資料
　＊試行実施　2022年より本格実施
2021年　請願・陳情文書表
　＊第２回定例会より試行実施

● 市議会だより

2008年　市制施行50周年を記念して、「小金井市議会だより集録版」を発刊
2018年　第261号から議員が８面を作成
2019年　第264号からフルカラー化
2021年　スマートフォン等用アプリ「マチイロ」での配信開始
2023年　第283号を試行的にA４判、４Pで発行
2025年　第292号をA４判、８Pで発行

● 議員による発信力強化

2019年　定例会ポスターの作成
2021年　ホームページにキッズページを作成
2022年　Twitter(現 X)のアイキャッチを作成

小金井市議会アカウントの登録数
(2026年11月16日現在)

- Xフォロワー数　436
- YouTubeチャンネル登録数 1,060

-3 市民の声の聴取と施策への反映

● 議会報告会の開催

2012年 議会報告会の試行実施
2016年 議会報告会の本実施（年１回以上）
2022年 議会報告会を日時を分け２会場で開催

● 市議会傍聴者アンケート

2004年 日曜議会で実施
2020年 常時実施

● 議員提案条例

1997年「小金井市まちをきれいにする条例」
2004年「小金井市の地下水及び湧水を保全する条例」
2013年「小金井市食育推進基本条例」
　「小金井市アスベスト飛散防止条例」
2016年「小金井市議会基本条例」

※ このほかに、2018年「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例」の修正可決など、市長提案の議案を修正する権能もたびたび発揮してきました。

● 懇談会・公聴会

2022年　議会の在り方（定数・報酬等）について、市民との懇談会を実施
2023年　３陳情第39号 市議会の議員定数に関する陳情書について、公聴会を実施

● アンケートによる意見聴取

2012年　議会基本条例制定に向けての市民アンケート
　小金井市議会ユーストリーム配信に関するアンケート
2016年　議会広報に関する意識調査(市民アンケート)
2019年　４年に一度の市民アンケート実施を決定
2020年　第２回定例会より傍聴者アンケートを常時実施
　小金井市議会に対する市民の意識調査(アンケート)
　市内小・中学生から小金井市議会ガイドブックへのご意見・ご感想
2022年　小金井市議会に対する市民の意識調査(アンケート)

2 小金井市議会の課題

-1 市議会の関心度をどう高めていくのか

市議会議員選挙の投票率は、おおむね40%台で推移しており、投票率の更なる向上を目指しています。とりわけ、若年層の投票率が低く、若い世代に市議会の役割や活動をどう伝えていくのか、私たちは考えていく必要があります。

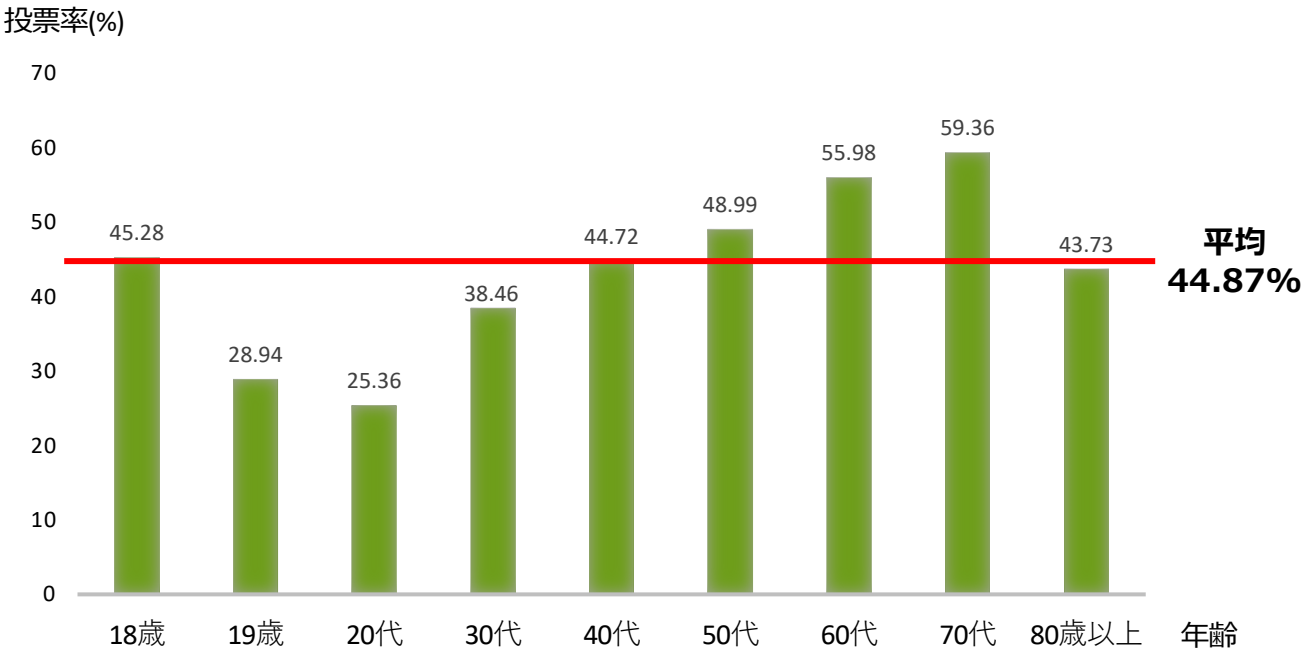
小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）集計結果(2023年２月)によると、投票に行かない理由の１位は「関心がない」でした。

そもそも、市議会に関心がないと答えた方が46.7%を超えています。関心がない理由としておよそ４割が「何をしているかわからないから」としていることからも、広報・広聴活動を充実させ、市議会への関心を高めていくことが求められています。

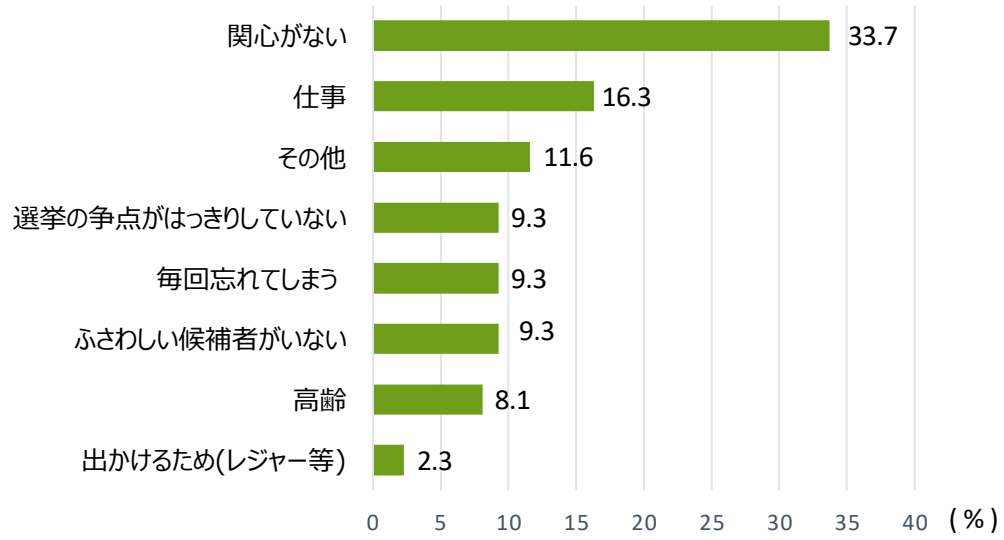
【市議選投票率】

2025年	44.87%
2021年	40.18%
2017年	39.54%
2013年	43.97%
2009年	47.27%
2005年	47.23%
2001年	48.85%
1997年	46.93%

【2025年３月市議選 世代別投票率】

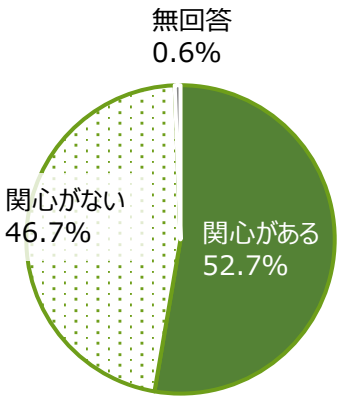


Q 投票に行かない理由



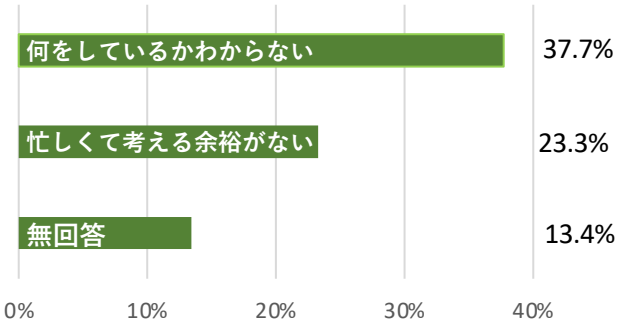
※ 無回答 50%を除く

Q 市議会に関心がありますか ？



➔ **関心がない　46.7%**

関心がない理由（複数回答可）



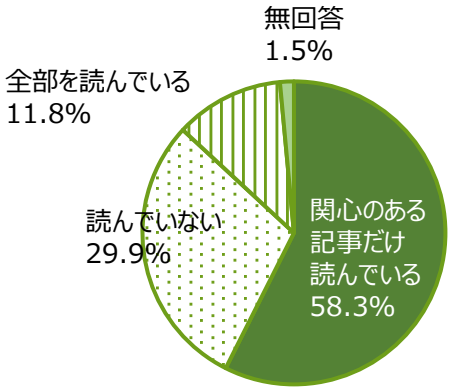
小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）集計結果　2023 年2 月

-2 広報活動を市民全体にどう広げていくのか

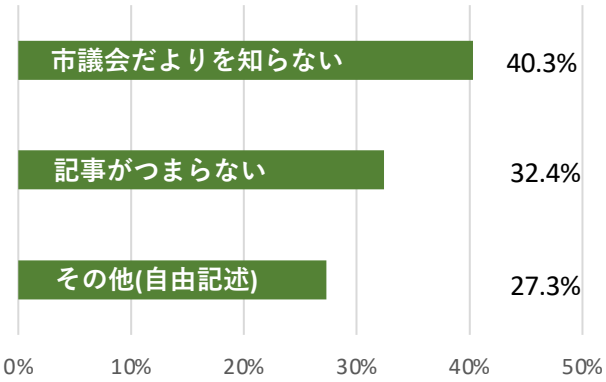
これまで、市議会が行ってきた小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）では、回答者の年代を聴取しているものの、年代別の回答結果の分析に至っていませんでした。広報活動を市民全体に広げていくためにも、他自治体議会の分析方法や質問項目も参考にしながら、より効果的なアンケートを行えるよう検討します。

例えば、どの広報媒体が効果的なのか考えるにあたっては、市議会が活用しているSNSが市民が利用しているSNSの利用実態にマッチしているのかを調査することも必要です。

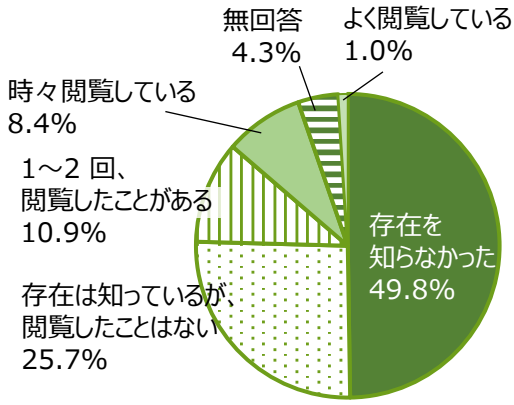
Q 市議会だよりを読んでいますか ➔ 読んでいない　29.9%



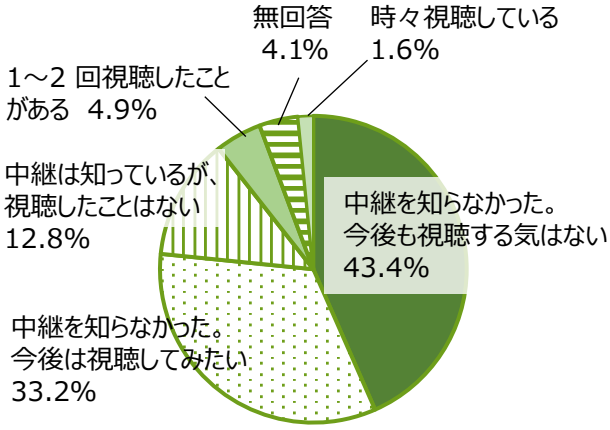
読んでいない理由



Q 市議会ホームページを閲覧していますか



Q YouTube中継を視聴したことがありますか



小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）集計結果　2023 年2 月

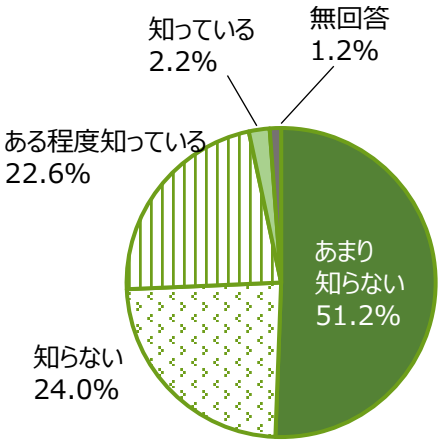
-3　多様な市民の声を市政にどのように反映していくのか

市民の意識調査結果から、議員の活動や市議会主催の議会報告会が知られていないことがわかります。また、93%の市民が自分の意見や要望を伝えていないことも明らかになっています。

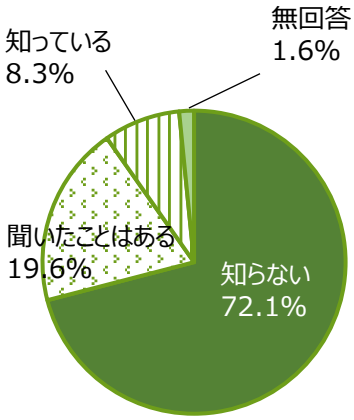
市民の声を市の政策に反映していくために、議員個人や会派が地域課題を集約し、一般質問や各常任委員会及び特別委員会等を通じて政策要望などを行っています。これらの活動にとどまらず、委員会や議会として多様な市民の声を市政に反映していくための活動を充実させることが必要です。

そのためにも、より効果的な広報活動と政策立案に資する広聴活動が求められています。

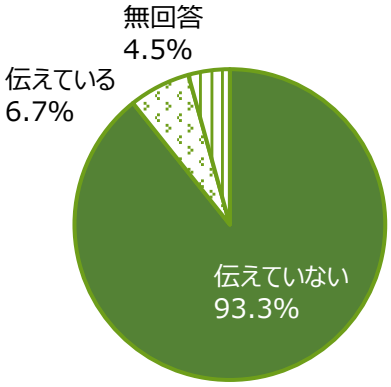
Q 市議会議員がどのような活動をしているか知っていますか？



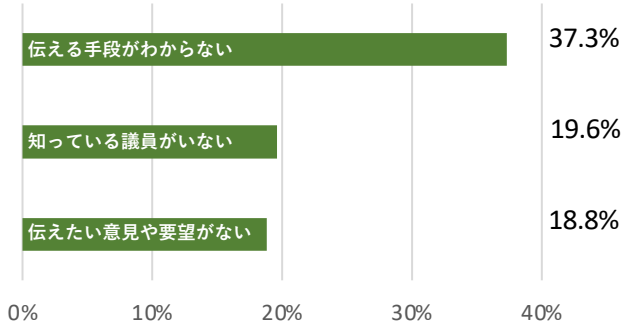
Q 市議会主催の議会報告会（意見交換会）が年１回開催されていることを知っていますか？



Q 市議会議員に自分の意見や要望を伝えていますか？ ➔ **伝えていない　93.3%**



自分の意見や要望を伝えない理由（複数回答可）



小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）集計結果　2023 年2 月

3 取組の方向性

小金井市議会は、前述のとおり、市議会としての広報・広聴に関する課題に真摯に取り組んできました。取組を更に進めるため、市議会の情報や活動、議会運営の透明性を更に高め、市民がアクセスしやすく、より身近で親しみの持てる議会を目指します。また、市民に対する説明を徹底することで、議会への信頼を高めます。

小金井市議会では、広報・広聴についての取組の方向性を以下のように定め、これまで以上に、市民の様々な声を市政に反映する仕組みづくりに努めます。

-1 わかりやすい広報・情報発信への取組（広報）

市民の知る権利を保障し、市民にとって必要な情報を誰にでもわかりやすく整理し、届けられる仕組みを整えます。市民に選ばれた議会として、市議会における様々な議論や議決に至るプロセスを明らかにし、説明責任を果たすよう努めます。

情報発信にあたっては、単なる発信ではなく、情報が市民に届き、理解され、その内容が議会や市政への関心や行動につながるかという視点を重視し、身近な媒体による広報の在り方を継続的に検証・改善し、様々な媒体を積極的に取り入れます。

広報媒体の具体的な活用方法

① 市議会だより

記事内容の充実やわかりやすいレイアウトに努めます。

② 市議会ホームページ

市民に議会をより身近に感じてもらうための重要な手段です。必要な情報を必要なタイミングで掲載できるようにします。

③ SNS

Xなど適切な媒体で情報到達の層を広げ、アカウントのフォロワー数や視聴回数を増やすような取組を行います。

④ YouTube

議会中継を行っているYouTubeアカウントのフォロワー数や視聴回数を増やすような取組を行います。

-2 市民の声を反映し、ともに考える仕組みづくり（広聴）

市民の議会への関心を高め、参加を促進するため、市民が参加しやすい場を設け、議会としての政策形成にいかしていく機会を作るよう努めます。それにより、幅広い市民の声を聴取し、双方向に意見交換しながら、議会活動や市政に反映させることができます。

市民から寄せられた意見や提案については、その取扱いや議会活動への反映状況を明らかにします。

市民から提出された請願・陳情、又は市長から提案された議案・施策については市民の声を可能な限り聴取し(公聴会・参考人制度を含む)、反映するようにします。

市民参加への具体的な取組

① 議会報告会

年に１回以上開催することになっている議会報告会の周知や開催内容の充実に努めます。

② 小金井市議会に対する市民の意識調査（アンケート）

4年に一度実施し、議会に対する市民意見の把握に努めています。

③ 市議会傍聴者アンケートの実施

市議会では、傍聴に来られた方にアンケートを実施し、その内容について広報・広聴協議会で情報共有を行っています。

④ LoGoフォーム・FAX・手紙等文書として寄せられた意見・要望

以上、市民の皆さんから届けられた意見・要望については、「議会に対する市民からの意見・要望についての対応 フロー図」に基づき、対応しています。

4 市民とつくる市民のための、開かれた議会へ

小金井市議会は、2016年施行の小金井市議会基本条例に基づき、広報協議会を設置しました。その後、2025年４月から広報・広聴協議会に名称を変更し、活動内容を拡充、広聴機能を強化しました。広報・広聴協議会は全ての会派で構成し、市民の多様な意見の把握に努めます。また、今後の具体的な取組については、広報・広聴協議会が中心となって取り組みます。

協議経過

日時	協議内容	会議体
2025年６月24日	正副座長 骨子案が示される	広報・広聴協議会
７月24日	広報・広聴協議会のスケジュール・パブリックコメントなどについて	広報・広聴協議会
８月21日	広報・広聴ビジョン案の意義等について	広報・広聴協議会
12月８日	広報・広聴ビジョン案が示される	広報・広聴協議会
2026年１月30日	広報・広聴ビジョン案の協議の進め方について起草委員会を設置し、協議することで一致	広報・広聴協議会
２月25日	広報・広聴ビジョン案の基本構成、意義、データの扱い、計画期間の設置について	第１回起草委員会
４月21日	前文、これまでの市議会が取り組んできたこと、市議会の課題について	第２回起草委員会
５月22日	タイトル・サブタイトル、前文の精査、取組の方向性について	第３回起草委員会
６月22日	タイトル・サブタイトル、前文、推進体制などについて	第４回起草委員会
７月23日	タイトル・サブタイトルなどの精査	第５回起草委員会
８月28日	ビジョン、本文の精査、市民の意見聴取の方法について	第６回起草委員会
10月16日	広報・広聴ビジョン案の正副座長挨拶について	広報・広聴協議会

広報・広聴ビジョンの策定を終えて

この度、広報・広聴協議会は２年間かけて「知る。つながる。かわる。小金井市議会広報・広聴ビジョン 市民とつくる市民のための、開かれた議会へ」を策定することができました。協議会の12名が、市議会の情報をわかりやすく発信し、市民の皆様のご意見やご要望を聴き取る在り方について議論を重ね練り上げました。ビジョン策定はあくまで出発点です。今後とも、わかりやすく身近な広報・広聴に取り組んでまいります。

座長：森戸よう子　副座長：片山かおる

委員　太田宏徳　清水学　ながとり太郎　安田けいこ　坂井えつ子
吉良のりこ　村上ようすけ　藤川賢治　吹春やすたか　鈴木成夫